



# 辻川だより

第66号 [2023 冬号] 令和5年12月9日発行

発行 辻川区 [辻川公民館]  
〒679-2204 福崎町西田原 1227  
TEL 0790-22-5763  
HP [http://www10.plala.or.jp/tujikawa/public\\_html/](http://www10.plala.or.jp/tujikawa/public_html/)

## 公民館の将来

区長 田崎 正和

辻川公民館は昭和53年に建った築45年の鉄筋コンクリートの建造物です。その公民館の建替え等に向けて平成31年度総会で「特別積立金」徴収が承認され、令和4年度総会で月2000円の積み立てが決定され同年7月から向こう10年を目標に全世帯の積み立てが始まりました(原則として賃貸集合住宅居住世帯や申告のあった生活保護世帯と住民税非課税世帯は免除)。

一方で、公民館の耐震工事を優先すべきという意見や大規模改修でバリアフリー化をという求めもあります。今の辻川区の蓄えは総会資料(議案書)にある通りです。そのような状況の中で私たちはどの方向に進めばよいのでしょうか。

限られた資金を有効活用するためには、まず、耐震工事+バリアフリー化などの大規模改修(当然数十年先まで今の公民館を使用)か、築60年(公共施設更新の目安)で建替えを行う(今後15年は小規模修繕で対応する)か、を役員会(隣保長各種団体役員会議)に諮り検討する必要があります。臨時総会が必要になるかもしれません。そこで方向性が決まれば、次に「公民館建設等検討委員会」(特別委員会)を立ち上げ、時機を逸せず準備を進める知恵と熱き思いを集めなければならぬと思っています。

## 来年の予定

- ◇1月7日(日) 合格祈願祭(中学PTA主催に変更予定)
- ◇12月中旬～1月中旬 辻川区備品点検(各種団体備品整理)
- ◇2月上旬～3月中旬 第3回「びらり辻川界隈まち歩き」準備

## 協議員会は今

- 9～11月の協議員会での報告・検討内容を一部紹介します。
- ① 秋祭りの準備と反省
- ② 公民館の隣保輪番制掃除
- ③ 道普請内容確認
- ④ 公民館ネット環境及びホームページについて
- ⑤ 全防犯灯点検
- ⑥ 辻川区内要望書集約
- ⑦ 公民館耐震化工事について
- ⑧ 事業所等への協力金等
- ⑨ フラワーポットの植替



## 祭礼行事のお知らせ

- ◆1月1日～3日 正月祭り(鈴の森各社・高藤稲荷)
- ◆1月7日(日) 10時 冬えびす(恵美酒神社)
- ◆1月7日(日) 16時 一戸あたり2000円の費銭をとんど(鈴の森・高藤稲荷神社)
- ◆以下、宮内番「5隣保」より
- ◇2月3日(土) 17時30分 節分祭(年越祭) 歳灯(鈴の森・高藤稲荷神社)
- ◇2月12日(祝) 10時 初午祭(高藤稲荷神社)

## 10～11月整備・修理の報告

- ・公民館2階和室網戸障子張替
- ・防犯灯修理(7・10・18隣保)
- ・屋台蔵前デッキさび止め塗装

## 事業報告生口

◆9月16日(土)

- 隣保長・各種団体役員会議
- ① 秋祭りの実行委員会構成・運行予定等説明
- ② 道普請について
- ③ 来年度の要望書について
- ④ 防災訓練(消火器講習会)
- ⑤ 「辻川だより」第65号発行及び「民俗学のふるさと辻川」原稿募集について

◆9月24日(日)

- 道普請及び雲津川等掃除
- 今年も秋祭りに向けて区内の街路がきれいになりました。それに先立って、消防OB会等によって鈴の森神社境内や周辺の剪定や刈りも行われました。また、15隣保の皆さんの手伝いもあった雲津川掃除や鈴の森駐車場、登記所跡グラウンドの草刈りも行われました。

◆10月1日(日)

- 老人会 鈴の森神社掃除
- 老人会による鈴の森神社境内の掃除が行われ、協議員も剪定を手伝いました。また、22隣保の西を流れている水路を協議員と22隣保の



皆さん16名とて掃除をしました。長年のごみや草を撤去して、とてもきれいにまりました。

◆10月27日(金)

- 辻川消防団 田原小3年の体験学習受入



22隣保西水路 after before

秋祭り

コロナ禍が明け、四年ぶりの通常開催に。祭典委員会を中心に準備を進める中で、乗り子の数が確保できないという新たな課題が出てきました。そんな中での練習や準備は大変でしたが、青年団と乗り子たちの頑張りで無事当日を迎えることができました。乗



10/7 鈴の森神社 宮入

り子の保護者の皆さんには、今年もシテ作りを担ってもらいました。

そして、宵宮の鈴の森神社では、皆の気持ちが一とつとなり、力のこもった練りを披露しました。



10/7 鈴の森神社 宮出

本宮の熊野神社では、宮出の12台差しや6台練りなどの新しい試みが、青年団長松岡君を中心とする田原青年会の奮闘で実現しました。宮出は、あいにくの雨でしたが、辻川青年団の熱き思いは、辻川屋台の気合いの入った練りに結集したと思えます。



10/8 本宮の朝 鏡開き

今年も木方、棒端、青年団を中心に辻川区全体で一致協力して、素晴らしい祭りができました。また、屋台蔵周辺住居の皆さんのご理解にも感謝申し上げます。祭りの後の



10/8 熊野神社 宮入

祭典委員会の反省会で出た意見を一部紹介します。

- ・ 来年の乗り子は、原則として、例年通り
- ・ 街中のプラスチックのシテを増やす。
- ・ 祭り前から「通行注意看板」を区内交差点に設置する。
- ・ 宵宮の夜に公民館で、温かい食べ物を検討する。
- ・ 一回目の肩合わせでは、練り方が分からない初心者のために基本から確認する。
- ・ 救急用品を軽トラに載せる。
- ・ 傷んだ脇棒受けを修理する。



10/8 熊野神社 宮出

今回の課題を振り返り、善し、討改、来年少ないたいと思います。今後とも皆様の協力ご支援をよろしくお願いいたします。



10/8 蔵入れ

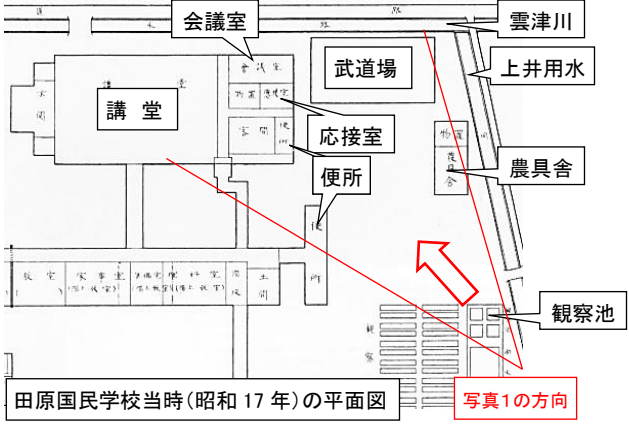
## 先の号外に引き続き、2話目の「私の昭和の時代」を掲載します。

### 第2話の①「小学校講堂に田原村図書館誕生」

旧田原村で最初の図書館は昭和24年(1949)4月16日、田原小学校※1の旧講堂内にできた。中村健氏自叙伝『バリ祭の男』によると、◆「進駐軍」※2の示唆により日本中に「公民館」というものを設置することになったらしい。(昭和22年後半頃に)県庁から田原村にもそれをつくれと言われて来た。しかし「公民館」の意味がはっきりしない。まあ、小さな図書館のようなものをつくって「お茶を濁す」ことにしたと、村長は考えているとのこと…。役場の古井助役から「至急、適当な本を買って来てもらえぬか」との要請を受け、「すぐ姫路へ行き、村出身の大塚書店のおやじと相談して二十万円ばかりの書籍を一度に買ってきた。(略)その頃のベストセラー「細雪 谷崎潤一郎」全数巻が一番高価であったと記憶している。それに永井隆博士の「この子を残して」「長崎の鐘」…なども」◆「村長と小学校校長に掛け合って「公民館」の建物をぎめた。小学校には鉄骨木造、赤瓦葺きの大講堂がある。その東端(写真1

(と平面図)に四十畳程の洋風会議室と十畳程の応接室(写真2)があり、小さな裏玄関とトイレも付属している。これを借りて「公民館」ということにした。つくく  
〔田崎 正和〕

※1 昭和22年4月、田原国民学校が田原小学校になった。  
※2 戦後、日本を占領した連合国軍総司令部の通称。GHQとも。昭和27年の対日講和条約まで日本を統治下に置いた。  
※3 GHQの検閲によりすぐには出版許可が下りず、初版発行は昭和24年1月に。  
参考・引用文献  
「柳の木とともに」田原小学校PTA(1980)  
「バリ祭の男」中村健(1990頃)  
「畏谷川善雄歴観」松岡秀隆(2008)



田原国民学校当時(昭和17年)の平面図 写真1の方向



写真1

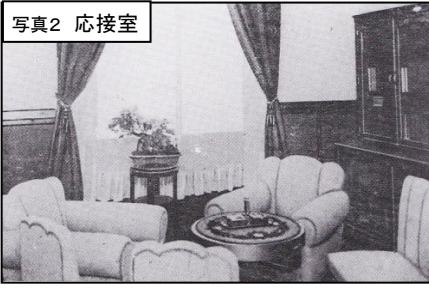


写真2 応接室

♥大募集♥「私の昭和の時代」投稿をお待ちしています。  
編集後記

柳田國男も愛した鈴の森神社に奉納された華麗な辻川屋台の姿は見事でした。辻川だよりの連載記事として、「私の昭和の時代」を紹介していく予定です。お楽しみください。  
〔吉田 和司〕